

授業科目 装具学 II (上肢装具)

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢
笹本 嘉朝、藤枝 温子、高橋 素彦		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○			○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 上肢装具の使用目的と種類、適応となる疾患について正しく理解する。それらに合致した装具の設計、製作を的確に行うために必要な理論と知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢装具の関連用語、定義および分類について説明できる。 2. 上肢装具のバイオメカニクスについて説明できる。 3. 対象となる疾患学について説明できる。 4. 上肢装具のバイオメカニクスと装具のデザインについて説明できる。 5. 既製品の上肢装具および自助具の名称、機能を説明できる。 6. 義肢装具士の業務、求められる責任および態度について説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	概論：上肢装具の定義、分類、関連用語および使用目的：上肢の機能と主な関節の形態：運動上肢の機能障害と装具・装具デザイン			1, 2, 4	講義
2	指装具学：指関節の機能解剖・バイオメカニクス：手指疾患と装具療法：指装具の臨床および製作工程			2, 3, 5	講義
3	手関節装具学：手関節の機能解剖・バイオメカニクス：手関節疾患と装具療法：手関節装具の臨床および製作工程			2, 3, 5	講義
4	対立装具学：対立装具の概念：静的装具・動的装具：対立装具の臨床および製作工程			1, 6	講義
5	把持装具学：把持装具の概念：把持装具の形式と適応：把持装具の臨床および製作工程			1, 4, 6	講義
6	肘装具学：肘関節の機能解剖・バイオメカニクス：肘関節疾患と装具療法：肘装具の臨床および製作工程			2, 3, 6	講義
7	肩装具学：肩関節の機能解剖・バイオメカニクス：肩関節疾患と装具療法疾患別による上肢装具（外傷・神経性・RA）			2, 3	講義
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		装具学 第4版	日本義肢装具学会監修	医歯薬出版	2013・6,200円＋税
参考書		新しい装具学	加倉井周一 他	協同医書出版社 全日本病院出版会	2006・6,000円＋税
		手のスプリントのすべて 第3版	矢崎潔 他	三輪書店	2006・6,600円＋税
その他の資料		單元ごとに必要な資料を配布する			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
筆記試験（小テストと科目試験）、学習態度で総合的に判断する。		授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。 欠席は1回につき－5点、遅刻は1回につき－2点、遅刻2回で1回の欠席とし最終評価から減点する。			